

# 国立精神・神経医療研究センター

## 国際セミナー

日時：平成 29 年 3 月 1 日（水） 12：00 ～ 13：00

場所：教育研修棟 多目的室

演者：Mark Gluck, Ph.D.

Professor, Center for Molecular & Behavioral  
Neuroscience, Rutgers, The State University of  
New Jersey - Newark

Co-Director, Rutgers Memory Disorders Project  
& the African-American Brain Health Initiative,  
Rutgers, The State University of New Jersey -  
Newark

演題：Understanding PTSD as a Disruption to the Brain  
Circuits for Learning and Generalization

内容紹介：

伝統的にそして臨床的に、心的外傷後ストレス障害(PTSD)は不安障害の一つだとみられてきたが、PTSDの神経的基盤を理解しようとする新しいアプローチは特に、大脳基底核と内側側頭葉においてPTSDが学習と般化をつかさどる脳回路を攪乱するとの見解をもつ。これら両方の脳内部位についての私達の先の神経コンピューターモデリングを発展させ、PTSD患者（米国陸軍と海兵隊そしてイスラエル警察と陸軍より、災害生存者であるハンガリー市民、そして最近ではニューワーク、ニュージャージーの性的暴力被害女性ら）を対象に認知的神経科学研究を行っている。私達の研究は機能的な脳画像に加え、学習と般化について複数の斬新な神経認知的アセスメントを用い、二つの研究課題に取り組んでいる：1）心的外傷後ストレス障害は、新しい状況における既に学習した法則の般化にどのような影響を与えるのか、2）心的外傷後ストレス障害は報酬（肯定的なフィードバック）、また、罰（否定的なフィードバック）から成る学習にどのような影響を与えるのか。そして、最後に、より新しい睡眠ポリグラフと脳画像を使った睡眠研究について描写し、徐波睡眠とレム睡眠がいかに交互作用し、恐怖の条件付けの学習と般化の両方に影響を及ぼしていると予測されるかについて述べる。

担当・連絡先：成人精神保健研究部 奥村（内線 6312）